

千曲市立 戸倉小学校

私たちの学校では、こんな活動をしています。



飯山市立 常盤小学校

ふるさとの魅力 発信！

ふるさと戸倉をもっと深く知ろう！ 知ってもらおう！

ふるさとの伝統を守りたい

小沼ほうきを多くの人に知ってもらおう



落ちていたゴミをきれいにすればもっとステキな町になるね。



グループで作った動画をみんなにも見てもらおう！



戸倉に活気をとれよう!!
いつでも提案しました。

戸倉小学校では、令和4年度開校150周年を迎えたことをきっかけに、自分たちの住むふるさと戸倉のことを知り、未来へ伝え、残していくことを目指し、ふるさと学習「戸倉学」がスタートしました。

6年生が、「戸倉のことをもっとよく知り、ふるさとを好きになろう」という思いで学習してきた中で、昔は活気があった戸倉地域が、現在では人口が減っていることや県外ナンバーなど観光客を見かけることが少ないという現状に気がきました。

そこで「自分たちが戸倉のためにできることは何か」を一人一人が真剣に考え、話し合いました。「キティパークには去年の卒業生がアイデアを出してつくられた大型遊具が



キティパークに私たちの考えた遊具が完成！

あったり、かわいい動物たちとふれあうことができたりと、よいところがたくさんある」**「You Tuber** みたいにキティパークで遊んでいる動画を撮影編集しているいろいろな人も遊びに来てほしい」**「地域の方にインタビューした内容を手作り絵本にして、自分たちの知らない戸倉の魅力を紹介したい」というような思いから複数のグループに分かれ、実際に活動していきました。**

これからもできる限り多くの人に戸倉の魅力を知ってもらい、少しでも戸倉が活気づいていくといいなと思っています。

各校のボランティア・地域活動の紹介



ホウキモロコシの種まきと収穫



ほうきづくり

おもいっきり引っ張らないと…

これがほうきになるんだね。



小沼ほうきの良さを表そう！

飯山仏壇のお店を借りてのCM撮影

常盤小学校は、ふるさと学習を大切にしています。5年生は、去年からふるさとの伝統工芸品である小沼ほうきについて学習をしています。

小沼ほうきは常盤地区で昔(約150年前)から作られていて、長野県の伝統工芸品にも指定されています。実際の小沼ほうきを触ってみて「他のほうきと違って、作りがしっかりしている」「丈夫で長持ちしそうだ」「しなやかではきやすい」と感じました。

しかし、現在は作れる人が減ってきていて、いつかはなくなってしまうかもしれません。そのことを知った5年生は、

小沼ほうきを守るための活動をしていくことになりました。

昨年は、地域の小沼ほうき振興会の方々に教えてもらいながら、1年かけてほうき作りをしました。原料のホウキモロコシを育てることも、ホウキモロコシを編んでほうきを作ることも、とても難しく大変で、職人さんのすごさがよく分かりました。

今年は、小沼ほうきのことをたくさんの人に知ってもらおうと、CM作りにチャレンジしました。市役所、テレビ局、小沼ほうき振興会など、たくさんの地域の方々に協力してもらいました。「見る人の印象に残るように」「小沼ほうきをほしいと思ってもらえるように」と工夫して、すばらしさを伝えるCMを完成させることができました。

小沼ほうきがずっと残っていくように、私たちがすばらしさを伝えていきたいと思っています。

戸倉小学校の紹介
全校278名の学校です。東日本大震災の支援がきっかけとなり、同じ校名という縁で南三陸町立戸倉小学校との交流が始まりました。今年度は戸倉学として活動してきたことを観てもらおうと動画にまとめ、配信しました。

ここに注目！
取り組みのポイント
実際に見て・聞いて・体験してみると、私たちの「ふるさと」に関わっている町の人たちとのつながりにも気づかれます。いろいろな方のお話を聞いてみると、新しい発見があるかもしれません。

常盤小学校の紹介
開校135周年目を迎える本校は、令和6年度末をもって閉校し、近隣4校が統合する城北小学校として新たにスタートします。在校生は今、常盤の良さを知って、伝えていこうと、ふるさと学習を大切に学校生活を送っています。

ここに注目！
取り組みのポイント
伝統を守ることは、モノづくりだけではなく、伝えてきている人たちの知恵や技、それ以上に、伝えていきたい「思い」も一緒に守っていくことになります。皆さんの身近なところで未来にむけて守っていききたいものはありますか？

18歳までの子どもがかける「子ども専用の電話」
チャイルドライン
フリーダイヤル **0120-99-7777**
困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいにくいことでも、名前は言わなくていいので安心して話してください。
★どんなことでも、いっしょに考えます。

チャイルドラインはみなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。



社会福祉法人 **長野県社会福祉協議会**
まちづくりボランティアセンター
〒380-0936 大字中御所字岡田98番地1 長野保健福祉事務所庁舎内
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137
Eメール vcenter@nsyakyo.or.jp ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp

公益社団法人 **信濃教育会**
〒380-0846 長野市旭町1098
TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyō.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音読データとしてダウンロードできます。
<http://www.nsyakyo.or.jp>

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう！

どこにあるかわからないひとは長野県社協まで！

この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が役立てられています。

